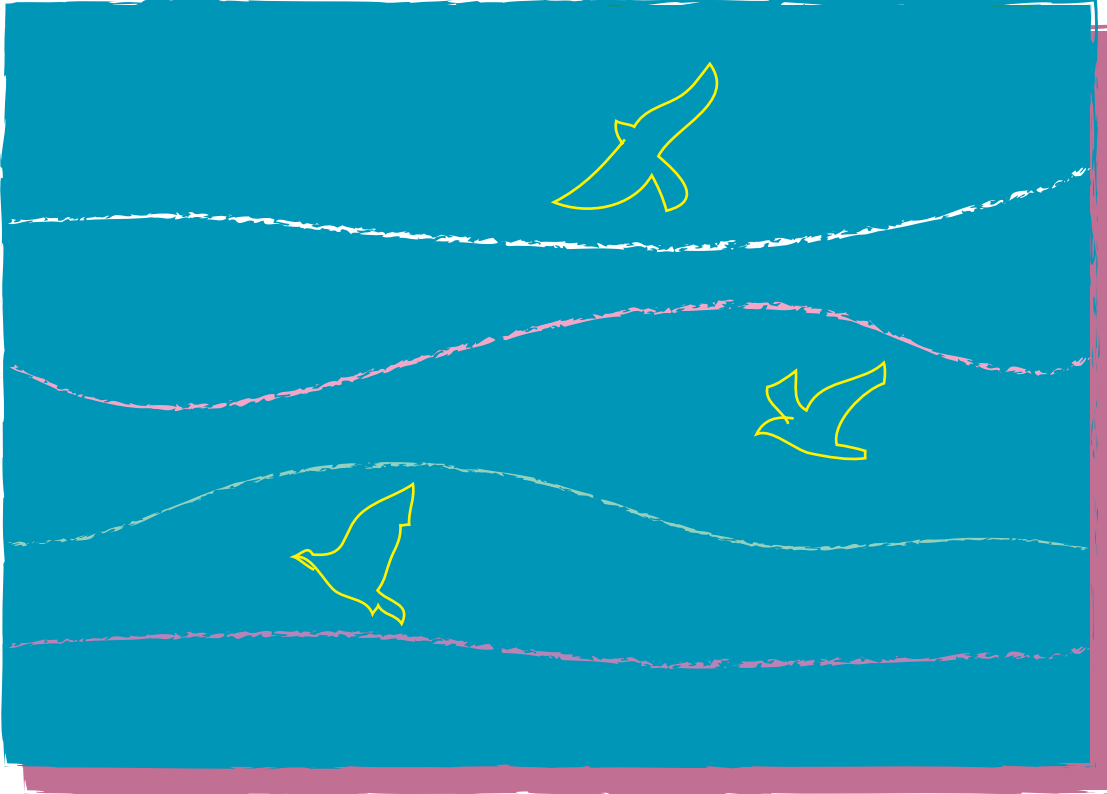


鹿児島県

男女共同参画センター だより

性別にかかわらず 一人ひとりが尊重され 個性と能力が発揮される社会をめざして



特集 女性がいきいきと働くことができる 鹿児島を目指して

第3次鹿児島県男女共同参画基本計画

トピックス

男女共同参画の視点に立った誰もが出番と居場所のある地域づくり

センター事業から

2018年度センター事業予定

グループ紹介

2018.3
vol.34

女性がいきいきと働くことができる鹿児島を目指して

本県では、働く女性が多い一方で、家庭責任の多くを女性が担っており仕事と家庭生活の両立が困難なことから、出産・育児を理由に離職する女性も多くなっています。また、キャリア形成がなされず自信が持てないとして管理職になるのをためらうなど管理職に占める女性の割合は低く、女性の能力が十分に発揮できていない状況にあります。このような、女性が思うように活躍できない背景には、性別による固定的な役割分担意識(夫は外で働き、妻は家庭を守るべき)や長時間労働を前提とした労働慣行などの職場環境や企業風土があります。

このため、県では、女性が働きやすい環境づくりのため、子育て支援環境の整備や働き方改革の推進、男性の家事・育児等への参画を進めているところです。また、女性が活躍できる環境づくりのため、企業トップや管理職等の意識改革や女性の能力発揮の支援の取組を進め、働くことを希望する女性が、その個性と能力を十分に発揮して、女性も男性も、ともに安心していきいきと働くことができる鹿児島の実現を目指します。

～伸びる企業の秘訣は女性活躍にあり!～女性活躍推進企業トップセミナー 9/13 対象:企業経営者等

性別による固定的役割分担意識や男性中心型労働慣行などの職場環境・企業風土の改善には、企業トップが先頭に立ってダイバーシティマネジメントを実践し、働き方改革を進めることが必要であることから、今回、経営戦略の観点から企業トップ等の意識改革を図るためのセミナーを実施しました。

基調講演 「企業成長の鍵を学ぶ 女性活躍で企業が変わる！」

講師 佐々木常夫さん
元東し経営研究所社長、(株)佐々木常夫マネージメント・リサーチ代表取締役

佐々木さんは、東し3代の社長に任せ、破綻会社の再建やさまざまな事業改革に取り組みされてきました。講演では、御自身の体験とそこから得た仕事術、ダイバーシティが求められる背景や経営戦略としてのダイバーシティ、女性活躍の意義・課題等についてお話をいただきました。



表彰式 女性活躍推進優良企業表彰式

県では、女性の活躍推進に向けて、女性の管理職等への登用や能力開発、子育て支援、全社を挙げた職場風土づくり等に積極的に取り組み、女性が活躍している企業の表彰制度を創設しました。トップセミナーにおいて、栄えある第1回目となる女性活躍推進優良企業の表彰を行いました。

また、表彰企業の皆様には、表彰式終了後、女性活躍に取り組む理由、女性の活躍推進に関する取組の実施状況、課題及び成果等について事例発表していただきました。



表彰企業 城山観光株式会社、株式会社新日本科学、株式会社トヨタ車体研究所 (50音順)

女性活躍推進企業管理職マネジメントセミナー 1/31 鹿児島エリア 2/1 大隅エリア 対象:企業の管理職・人事部・総務部の方

経営者と現場をつなぐ管理職、人事部、総務部の方を対象に、ダイバーシティマネジメントやワーク・ライフ・バランスの推進による労働生産性の向上、部下の意欲と能力を向上させていくマネジメント力向上のためのセミナーを実施しました。

基調講演 「女性が活躍する現場作りの秘訣。」

講師 塚越学さん (株)東し経営研究所ダイバーシティ&ワークライフバランス推進部 上席シニアコンサルタント
NPO法人ファザリングジャパン理事

講演では、今、日本で期待されている次世代上司像「イクボス」のマネジメントとそのポイント、女性活躍推進よくある声から見る職場の傾向と対策についてお話をいただきました。

また、その後のグループワークでは、講演を聴いて自社に活かせると思った取組等について発表していただき、今後の女性の活躍推進について活発な意見交換が行われました。



学生のための男女共同参画ワールド・カフェ～これからの生き方・働き方を考えよう～ 8/9 対象:学生等

男女共同参画の基礎知識の学びを通して、固定的性別役割分担意識にとらわれず、主体的にこれからの生き方・働き方を選択する力をつけて多様なキャリアを形成していくためのセミナーを鹿児島大学との共催で実施しました。当センターでは学生等向けのセミナーは今回初めてです。

講師 萩原なつ子さん 立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科教授

ジェンダー、ダイバーシティ、男女共同参画社会、ワーク・ライフ・バランス(以下、WLBと表示。)をキーワードとして男女共同参画に関する歴史的社会的背景や現状について理解を深め、固定観念にとらわれることなく、自分らしく生きることについて考える講義を行っていただきました。

その後、ワールド・カフェの形式により、仕事、働くをキーワードにして自分事として考えながら、参加者同士が多様な価値観に触れるワークショップが行われました。



ワールド・カフェとは…
カフェのようなリラックスできる雰囲気の中で、メンバーの組合せを変えながら、少人数で話し合いを続けることにより、深い相互理解や新しい知識を生み出す話し合いの手法

「刺激的というよりも、心に響く内容のお話を聞くことができた。」「自分の中にある男女の概念は、父親が働き、母親が育児や家事をするというもののイメージが強いなと感じることができた。」「様々な人と交流することで新しい発見があった。」という感想が寄せられました。

お知らせ 鹿児島県内大学等男女共同参画連携会議を設置

男女共同参画に係る情報共有や意見交換をすることを目的に、鹿児島県内大学等11機関(6大学、4短期大学、工業高等専門学校)と鹿児島県は、平成29年11月11日に「鹿児島県内大学等男女共同参画連携会議」を設置しました。

私の働き方を考える ~おしえて先輩 聞かせて先輩~

9/27 対象:働く女性

働く女性の中には、責任が重くなることや長時間労働により仕事と家庭生活の両立が困難になることへの不安などを理由として管理職につくことに消極的な女性も多くいることから、女性が将来のキャリアデザインを描き、意欲をもって就業できるよう、ロールモデルの提示、交流の機会となるセミナーを鹿児島県女性活躍推進会議女性ワーキンググループと協働で実施しました。

講演 「互いの幸せのために、一人ひとりの尊厳に気づき向き合おう」

講師 古城順子さん オフィス藤田有限会社 取締役



違う価値観をもつ人たちが集まる職場において、人を大切にする組織作りを行っていらっしゃる古城さんに、職場で起きる衝突の調整方法、一人ひとりの尊厳や裏に潜んだ前向きなエネルギーを察する働きかけの大切さなど、体験された苦労や気づきについてお話をいただきました。

●トークセッション

パネラー:鹿児島県女性活躍推進会議 女性ワーキンググループメンバー

コーディネーター:高崎恵さん オフィスビュア ワークショップデザイナー

女性ワーキンググループメンバーから5名の方に御登壇いただき、御自身の現状や働く上での課題についてお話をいただきました。

●フリートーク 講演、トークセッションの後、高崎恵さんをコーディネーターに、講師の古城さん、女性ワーキンググループメンバーの方々にも御参加いただき、参加者同士で意見交換が行われました。



「尊厳と調整、選択と決定の2つが、問題を悩みにせず、課題として取り組んでいけるキーワードと思った。」「結婚・出産・産休・うちの会社でできるわけないという思いがあったが、まずは、1つ自分で変えてみる。」「先輩のお話をたくさん聞いて、悩みを話せて楽しかった。」「女性活躍推進法について、勘違いして認識していた部分があり、改めて会社で共有したいと思った。」という感想が寄せられました。

ワーク・ライフ・バランスセミナー

11/3 対象:どなたでも

仕事と生活の調和について理解を深めるとともに、働き方の見直しと固定的性別役割分担意識の解消を図り、仕事と育児や介護との両立に対する不安・問題を解消するためのセミナーを実施しました。

ワークライフバランス実践術 ~子育て・介護しながら働く秘訣~

講師 渥美由喜さん 内閣府地域働き方改革支援チーム委員・地域推進アドバイザー<兼務 東経経営研究所>

WLBの研究者であり、子育て、介護をしながら働いていらっしゃる渥美さんに、WLBとは何か、ワークとライフの関係、WLBが実現できている会社(人)の共通点、多様性への対応、男性の家事・育児参画の楽しみ、働きながら介護する秘訣、子育て・介護・看護をしながらの就労継続できる働き方改革の考え方などについてお話をいただきました。



自分を好きになるための男女共同参画学びの広場!

講師 高崎恵さん 多様性トレーナー/ワークショップデザイナー
県男女共同参画ジュニアリーダー

子育て世代の方がお子さんと一緒に参加できるよう、小・中学生対象のワークショップを実施しました。セミナー終了後には、発表会も行いました。



「WLBの意味って何だろうと思っていたが、仕事だけでなく、家族や友人との時間も大切にしたいという言葉に救われた。」「女性だけでなく、男性も楽しく働ける職場を目指すための新しいアイデアが思い浮かんだ。会社に持ち帰り、働き方改革の推進に努めたい。」「自分がこうありたいと選択し続けることで、自分の理想のWLBに近づけるかもしれないと気づけた。周りに感謝し、自分のできる仕事を効率よくしていきたい。」という感想が寄せられました。

キャリアデザインセミナー わたし×働くのこれからをデザインする3Days

働き又は働こうとする女性を対象に、女性が将来のキャリアデザインを描き、意欲をもって就業できるよう、意識の向上やキャリアアップのための能力開発、ネットワークづくりの支援を行うためのセミナーをピア・スタディング、マルヤガーデンズとの協働で実施しました。

今回初めて商業施設で開催したことで、より多くの方に情報が届き、当センターを知らなかった方の参加にもつながりました。

1日目 「わたし×働く」のこれまでを知りこれからを考える

講師 浜田敬子さん BUSINESS INSIDER JAPAN 総括編集長 AERA前編集長

3回連続講座の基調講演として、記者として女性の生き方や働く職場の問題を取材し、個人と組織の関係を常にテーマとされている浜田敬子さんに、経済状況に翻弄され続けてきた女性の雇用や働くということ、働く女性を取り巻く課題を改善するために変えること、ダイバーシティの本質などについてお話をいただきました。



2/3 公開講座
対象:どなたでも

「知らず知らずのうちに受け身で、環境の悪さを嘆くばかりだった。自分から動き出すということに気づけた。」「いろんな価値観が混ざり合うと、新たな発見があるということ。」「一歩踏み出して、多様な生き方をして良いと認めること。ゆるいつなかりを大切にしていくことにヒントがあるということがとても印象に残った。」という感想や気づきなどが寄せられました。



2/11 対象:女性

2日目 「働く×壁」働く女性を支える法や制度をてがかりに

講師 大庭直美さん 鹿児島労働局 雇用・環境均等室長
高丸理香さん 鹿児島大学高等教育研究開発センター助教 <キャリアコンサルタント>

大庭さんに、女性の労働を取り巻く状況、女性が働き続けるための法律・制度、最近の法整備について、高丸さんに、本県の女性の働き方の現状、性別役割分業意識などにより調整している女性のワークとライフの選択についてお話をいただきました。

2/17 対象:女性

3日目 「わたし×働く」のこれからをデザインしよう

講師 山下亜紀子さん 九州大学大学院 人間環境学研究院人間科学部門准教授
高崎 恵さん 多様性トレーナー/ワークショップデザイナー

3回連続講座のクローゼット講座として、わたしたちに立ちをはだかってきた壁を乗り越えるために地域でどのように支えていくかについてお話をいただきました。その後、これまでの話を聞いて、自分に起こっている問題の背景には社会的制約があることを共有した上で、働くことを考える時の自身の壁やその背景、壁を乗り越えるために自分に必要なことについて考えるワークショップを実施しました。

3回連続
講座を
受講して

「色々な年代の立場の人たちのお話を聞くことができ有意義だった。自分だけでなくみんなも悩みを抱えていることも分かったことが救いになったし、何より話したことでスッキリとした気持ちになった。」「日常忙しい中で、セミナーを受講することで、「働くこと」や「働く自分と仕事」について改めて考えることができた。」という感想が寄せられました。

第3次鹿児島県男女共同参画基本計画を策定しました

県では、平成30年度から34年度を計画期間とする、「第3次鹿児島県男女共同参画基本計画」を策定しました。

男女共同参画社会の形成に向けた意識改革を基盤に据え、「女性の活躍」に視点を置きつつ、その前提となる職業生活、健康、地域生活における課題の解決に向けた真に実効性のある取組を進め、男性も女性も全ての個人がその個性と能力を十分に発揮できる社会の実現を目指します。

【基本理念(鹿児島県男女共同参画推進条例)】

- 男女の人権の尊重
- 社会における制度又は慣行についての配慮
- 政策等の立案及び決定への共同参画
- 家庭生活における活動と他の活動の両立
- 国際的協調

「男女の人権の尊重」は、男女共同参画社会を形成する上で、その根底をなす基本理念です。

基本目標

一人ひとりの人権が尊重され
 ○多様な生き方が選択でき、個性や能力が発揮できる社会づくり
 ○誰もが安心して暮らすことができる社会づくり

重点目標

- 1 男女共同参画社会の形成に向けた固定的性別役割分担意識の解消、教育・学習の推進
- 2 男女ともに能力を発揮しながら希望する働き方ができる環境の整備
- 3 生涯を通じた男女の健康支援
- 4 男女の人権を侵害するあらゆる暴力の根絶
- 5 生活上の困難や課題を抱えた人々が安心して暮らせる環境の整備
- 6 男女共同参画の視点に立った地域コミュニティづくりの推進

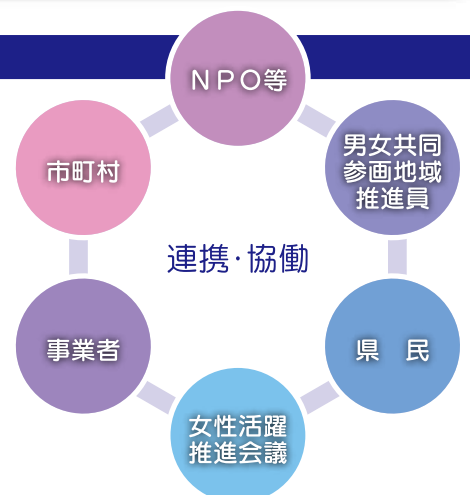
戦略的取組

(重点目標を実現するための分野横断的な取組)
 ◆子どもの頃から男女共同参画の理解を深めるための教育現場における取組
 ◆男女共同参画の視点に立った地域コミュニティづくりに向けた取組
 ◆あらゆる分野における政策・方針決定過程への女性の参画の拡大に向けた取組

推進体制

県

- ① 男女共同参画審議会、男女共同参画推進本部等の機能発揮
- ② 県男女共同参画センターの機能充実
- ③ 男女共同参画の施策に関する申出制度の適切な運用
- ④ 数値目標の達成に向けた具体的な取組
- ⑤ 施策の進行管理の徹底
- ⑥ 計画の評価及び施策への確実な反映



男女共同参画地域推進員に新たな顔ぶれ

平成30年2月18日、市町村長の推薦を受けた12名の方が、新たに県知事から男女共同参画地域推進員の委嘱を受けました。これにより、4月1日に再委嘱される方と合わせて、総勢99名になります。

◆地域推進員とは？

県では、県内各地域において、男女共同参画社会の形成に関する理解の浸透を図るため、平成20年度から、地域の実情や特性を踏まえて、地域の中で、県や市町村等と協働して男女共同参画を推進する「男女共同参画地域推進員」を設置しています。

◆地域推進員はどんなことをするの？

- 地域における男女共同参画に関する普及・啓発と情報提供
 - 県や市町村が行う男女共同参画施策の推進への協力など、様々な活動をボランティアで行っていただいています。
- 主な活動事例
- ・市町村担当課との定例会等に出席
 - ・県・市町村主催の研修会等への参加、広報等の協力
 - ・研修会、学習会、ミニ集会、展示等の企画・運営等

◆どんな人が地域推進員になれるの？

- 次の条件を満たす方で、市町村長の推薦があった方です。
- ・県内に居住する方
 - ・男女共同参画の推進に関して熱意と奉仕的精神を有する方
 - ・県が指定する講座を修了した方



今回の委嘱式には10名の方が参加されました

★地域推進員として地域での活動に興味のある方は、かごしま県民交流センターで6月～7月に開催する「男女共同参画基礎講座」または「男女共同参画基礎講座(地域版)」(県が指定する講座です。)を受講してみませんか。(6ページ参照)

相談室から

平成29年度 女性に対する暴力をなくす運動

11月12日から11月25日は内閣府が主唱する「女性に対する暴力をなくす運動」期間です。DVや性犯罪、ストーカー行為等といった女性に対する暴力は、女性の人権を著しく侵害するもので、決して許されるものではなく、男女共同参画社会を形成していく上で克服すべき重要な課題です。県では、女性に対する暴力の根絶を目指して、様々な取組を実施しました。



パープルリボンは、女性に対する暴力根絶運動のシンボルマークです。

暴力防止街頭キャンペーン

11月12日、鹿児島中央駅前で、女性に対する暴力をなくす運動啓発チラシや相談窓口カード等を配布しました。日曜日ということもあり、各団体の中高生会員や高校生ボランティアにもご参加いただきました。



【参加者】国際ソロプチミスト鹿児島、同川内、同華南、ガールスカウト鹿児島県連盟、鹿児島大学ボランティアサークル「ピア☆びあ☆かごしま」、ザ・ボディショップ、県男女共同参画センターサポーター、鹿児島県

暴力被害者支援セミナー

11月17日、NPO法人DV防止ながさき理事長の中田慶子さんをお招きしてセミナーを開催しました。

講演では、「DVの及ぼす影響と必要な支援」と題して、DVの実態とDVが及ぼす影響(生活や児童虐待等)と必要な支援について、御自身の体験を交えた具体的で分かりやすいお話により、被害者の支援に関わる参加者の理解が深まりました。また、現在から将来に向けてDV被害や児童虐待を予防する「若い世代へのDVの予防教育の必要性」や「地域・各家庭の中でできること」等、被害者(加害者)を作らない社会づくりの大事さをお話いただきました。講演後は、異なる機関・立場にある参加者でグループワークを行い、共通の事例を通して、いろいろな視点から意見、考えを出し合い、さらに講師の適切な助言等をいただきました。



パープルライトアップ

女性に対する暴力根絶運動のシンボルマークであるパープルリボンにちなみ、夜には観覧車「アミュラン」や甲突川橋梁(西田橋)もライトアップされました。



女性のための法律110番

11月24日、女性に対する暴力や離婚にまつわる諸問題について、県弁護士会の女性弁護士による電話・面接による無料法律相談を実施しました。

パネル展示・パープルリボンツリー設置

かごしま県民交流センター2階と県庁18階においてパネル展示やパープルリボンツリーの設置を行いました。パープルリボンツリーには、女性に対する暴力がなくなるようお願いを込めて、多くの方々にリボンを結んでいただきました。また、パープルリボンツリーの設置等には、企業にもご協力いただきました。



「県民交流センター」パープルリボンツリー



「山形屋」



「鹿児島銀行」



「マルヤガーデンズ」

ひとりで悩まず気軽に相談してください。

相談室では、専任の相談員が、あなたとともに考え、あなた自身の力で問題解決へ向かうお手伝いをします。

一般相談

【電話相談】099-221-6630・6631
 (受付時間)水～日曜日/9:00～17:00
 火曜日・休館日翌日/9:00～20:00
 【面接相談】(事前に予約が必要)

専門相談

【女性のための法律相談】原則第1・3火曜日(面接)
 【メンタルヘルス相談】原則第3木曜日(面接)
 【男性相談】原則第2土曜日(面接・電話)
 (男性相談員による男性のための相談)
 ※すべて事前に予約が必要

ぴあ
 すてーしょん

鹿児島大学医学部保健学科サークル「ピア☆びあ☆かごしま」が若者の男女交際の悩みやデートDV、性感染症等についての相談に応じています。

【日時】毎月第3土曜日14:00～16:00
 【場所】かごしま県民交流センター1階会議室(売店前)

男女共同参画センターでは、多様化・複雑化する地域課題の解決に向けた実践活動として、NPO法人や自治会等と協働で、男女共同参画の視点に立った地域づくりを行っています。

平成29年度は、NPO法人Lかごしま等と協働で、始良市を実施地域とする「始良市発！社会的孤立の状態にある一人ひとりに出番と居場所を創出するコミュニティメンター事業」に取り組んでいます。

始良市発！ 社会的孤立の状態にある一人ひとりに出番と居場所を創出する コミュニティメンター事業の概要



イベントでの苗植えの様子

地域コミュニティには、障害がある人、仕事や子育て、介護等で困難を抱える人等、多様な人々が暮らしており、なかには社会的孤立や生活困窮状態に置かれている人がいます。このような困難を抱える人々を包摂する場として地域コミュニティへの社会的要請は高まっているものの、地域コミュニティにおける活動は、一部の人々を中心に行われている傾向にあります。その結果、活動の担い手や参加者が固定化され、互助の力を必要とする困難を抱える人が、活動への参加の機会を得られない、地域の人々との関わりが持てない状況に置かれています。

そのため、社会的孤立や生活困窮状態に置かれている地域コミュニティに潜在している人や家族の「出番と居場所」の創出に向けて、一人ひとりの心に寄り添い地域との関わりを創出するコミュニティメンター(本事業で考案した造語)を養成・活用し、多様な一人ひとりを包摂する場としての地域コミュニティづくりに取り組んでいます。

事業名は、この事業の波及を願い「始良市発!」としました。これからも活動は続いていきます。



フェスティバルでの「多様性を理解するためのワークショップ」

- 主な活動**
- 「一人ひとりの人権が尊重される地域づくり講演会」の開催
 - コミュニティメンター養成講座の開催(5回連続講座)
 - 困難な状況が想定される方の家族の方々が集えるみんなの居場所「ひだまりカフェ」の開設(5回)
 - 困難な状況にある人々のケア、地域住民との交流の機会創出のためのイベントの開催(3回)
 - 「みんなのフェスティバル～私たち一人ひとり大切にされる地域コミュニティ～」の開催
 - 情報発信 等

- 協働の状況**
- NPO法人Lかごしま
 - NPO法人あいら子育て・地域支援情報局みちみち
 - 野菜直売所 四季菜代表
 - 県男女共同参画地域推進員
 - オフィス・ピュア
 - 始良市
 - 始良市社会福祉協議会
 - 松原なぎさ校区コミュニティ協議会
 - ひまわりハウス運営協議会
 - 県男女共同参画センター
- 他にも様々な方にご協力いただき実施しました。

2017年度

(★印は、民間団体との協働事業)

センター事業から

男女共同参画基礎講座in出水

9/30・10/7

たもつゆかりさん(オフィスピュア代表)と高崎恵さん(オフィスピュア所属/ワークショップデザイナー)を講師に、男女共同参画の基礎知識や地域における男女共同参画の推進に必要な知識と手法を学ぶ講座を北薩地区(9/30出水市中央公民館、10/7出水市役所)で開催しました。和やかな雰囲気の中、男女共同参画社会の大切さや、男女共同参画の視点に立った地域づくりの考え方について講話やワークショップで学びました。

なお、予定していた男女共同参画基礎講座in奄美は台風接近のため中止になりました。



協働・連携団体意見交換会

3/15

センターとの協働・連携関係にある民間団体にご参集いただき、それぞれの活動についての報告・紹介の後、意見交換を行い交流を深めました。

★高校生のための「ピアサポーター」養成講座 12/17

鹿児島大学医学部保健学科学生サークル「ピア☆びあ☆かごしま」が、デートDV防止や男女共同参画推進のための活動を行う高校生ピア(peer:同じ立場、同じ悩みをもつ仲間)サポーターを養成する講座を開催しました。様々なプログラムを通して、参加者のピア意識と同じ思いで学べた仲間との連帯感が育まれました。



男女共同参画セミナー「産業カウンセラーが教える『つぶれない働き方』の教科書」 2/10

シニア産業カウンセラー、キャリアコンサルタントで御活躍中の吉岡俊介先生(カウンセリングルーム「オフィスよしおか」経営(大阪市))を講師に迎え、男性の悩み相談の現場から見てくる「男らしさの縛り」などの背景や解消法について、具体的にわかりやすくお話いただきました。また、「よりよい人間関係を築く」ための基本姿勢やキーワードなども学びました。



★「好き」をいいわけにしない! 2/24
～20代、30代のためのデートDV防止セミナー～

かごしまピア研究会(「ピア☆びあ☆かごしま」JOB・OG、ピアカウンセラー養成者等)によるデートDV防止セミナーを曾於市との協働により、曾於市末吉総合センターで開催しました。20代・30代を中心にデートDV、DVの知識について学ぶとともに、「自分らしく、その人らしく生きる」ことのできるパートナーシップについて共に考えました。



2018
年度

鹿児島県 男女共同参画センター 事業予定

★は、民間団体との協働(共催)事業

意識啓発・人材の育成

男女共同参画基礎講座

男女共同参画についての基礎知識や身近なところで男女共同参画の理解を広めるための手法を学ぶ講座を開催します。また、3・4回目は、オプションプログラムも用意する予定です。

	期 日	テ ー マ
1	6月2日(土)	男女共同参画についての基本的な考え方
2	6月16日(土)	男女共同参画と人権
3	6月23日(土)	「私」を振り返り「私」に出会うワークショップ
4	6月30日(土)	地域福祉と男女共同参画

- 講師 たもつゆかりさん(オフィスピュア代表)
高崎 恵さん(ワークショップデザイナー)
- 時間 全講座/13:15~16:45
(オプションプログラム/10:30~12:00)
- 場所 かがしま県民交流センター
- 対象 原則、全回受講できる方(先着80名)

男女共同参画基礎講座 地域版

かがしま県民交流センター以外で男女共同参画についての基礎知識等を学ぶ2日間講座を開催します。

- 期日 9月~12月
- 場所 県内2地区
- 対象 地域の方々

★男女共同参画週間事業

県の男女共同参画週間(7/25~7/31)にちなみ、県民の方々に男女共同参画への関心や気づきを持っていただくための講演会やワークショップ等を開催します。

- 期日 7月25日(水)~7月31日(火)
- 場所 かがしま県民交流センター

男性への意識啓発

男性のための男女共同参画セミナー

男性の男女共同参画への正しい理解と職場や家庭における固定的性別役割分担意識の気づきと解消をめざしたセミナーを開催します。

- 期日 1月~2月
- 場所 かがしま県民交流センター

女性の活躍推進に向けた支援

女性のキャリアアップ支援事業

- ★キャリアデザインセミナー
- 学生のためのエンパワメントセミナー

若年層への意識啓発

子どもたちの男女共同参画学びの広場推進事業

子どもの頃から男女共同参画の理解を深めるために、学校でワークショップやセミナーを開催します。

- 期間 7月~12月
- 場所 小・中学校
- 対象 児童・生徒、教職員、保護者、地域の方々 等

また、男女共同参画の理解を深め、ワークショップの方法を学ぶ「ワークショップ実践者講座」を開催します。

- 期日 8月頃
- 場所 かがしま県民交流センター
- 対象 教職員、教職員をめざす学生 等

学校への男女共同参画お届けセミナー

高等学校等が開催する「男女共同参画」や「デートDVの防止」に関するセミナーに講師を派遣します。

- 期間 7月~2月
- 場所 高等学校等20校
- 対象 生徒、教職員、保護者

★高校生のための「ピアサポーター」養成講座

大学の学生サークルが、若者による若者のための暴力未然防止の活動として、悩みや問題を抱える同年代をサポートできる高校生の養成講座を開催します。

- 期日 12月頃
- 場所 かがしま県民交流センター
- 対象 高校生

★デートDV防止セミナー

デートDV防止の講演やコミュニケーション能力を向上させるためのワークショップ等を開催します。

- 期日 8月~12月

女性に対する暴力の防止・被害者支援

相談業務研修会

相談者への支援に必要な知識の習得と相談対応のスキルアップを図るための研修会を開催します。

- 期日 6月
- 場所 かがしま県民交流センター
- 対象 相談業務に係わる相談員、担当者等

暴力被害者支援セミナー

DVや性暴力の本質を理解し、被害者支援に必要な対応について学ぶセミナーを開催します。

- 期日 11月
- 場所 かがしま県民交流センター
- 対象 暴力被害者支援に係わる方、行政担当者等

女性に対する暴力防止キャンペーン

「女性に対する暴力をなくす運動」期間(11/12~11/25)に、民間団体や関係機関と協働で街頭キャンペーン等を実施します。

★街頭キャンペーン

- 期日 11月12日(月)
- 場所 鹿児島中央駅前

- アミュランのパープルライトアップ
- 女性のための法律110番(女性弁護士による無料相談)
- パネル展

男女共同参画あまみ会議

男女共同参画あまみ会議は、男女共同参画社会の形成を目指して、行政と連携して「奄美市男女共同参画基本計画」を市民サイドから推進することを目的に活動している団体です。平成5年3月に発足し、名称の変遷を経て、活動は25年目に入りました。

現在、6つの団体会員と14名の個人会員が加入しています。文化・地域づくり・商工業・女性起業家など各方面からの参画で、会員の個性や個々の持つスキルは豊かで、活動への底力となっています。

これまで、講演会やフェスタ開催、模擬議会や行政への提言等、会員自らも学びながら、男女共同参画の啓発活動を行ってきました。

平成23年度には、鹿児島県男女共同参画センター「男女共同参画の地域づくり協働事業」として市民100名へのグループインタビューを行い、公的サービスの隙間で人々が抱える様々な困難な状況や課題に触れ、会員一人ひとりが、改めて地域課題の解決や男女共同参画の推進を図る大切さを認識する機会となり、以降の活動の基礎となる取組となりました。

この取組の成果を活かし、困難な状況を行政・民間団

体・NPO・個人が協働してサポートをする「パーソナル・サポートシステム」の構築を目的として、平成24年度から、市民の緩やかな交流の場づくり、「あいあいカフェ事業」に取り組んでいます。

「あいあいカフェ」では、来場者と会員が、仕事・子育て・介護・趣味など様々な話題を語る光景が繰り広げられます。

「悩みを話し楽になった。」という方の存在や、相談先や解決のヒントを持ち帰っていただくこともあり、「あいあいカフェ事業」は現在の活動の軸となっています。

今後も、会の活動を積極的に発信し、私達の活動を通して、男女共同参画に触れ、市民の皆さんの豊かな生活が保障されることを願い、活動を続けたいと考えています。

【あいあいカフェの様子】



新着図書情報

※新着図書一覧はセンターのホームページに掲載中です。

男も女もみんなフェミニストでなきゃ



ナイジェリア出身で、現在は作家として出身国とアメリカを往復しながら活躍する著者のスピーチを書籍化。スピーチは、スウェーデン政府が16歳の全ての子どもに冊子にして配布するなど、大きな話題となった。著者は「フェミニスト」を「男性であれ女性であれ『ジェンダーについては今日だって問題があるよね、だから改善しなきゃね、もっと良くしなきゃ』という人」だと定義している。平易な言葉で軽やかに綴られており、フェミニストへの固定観念やジェンダーからするとと解放されるオススメの一冊。

チママンダ・ングズィ・アディーチェ 著
河出書房新社(2017年4月)

くまのトーマスはおんなのこジェンダーとゆうじょうについてのやさしいおはなし



女の子になりたいとずっと悩んでいたティベアのトーマス。本当の自分を打ち明ける勇気を持ったティベアと親友との友情についての絵本。作者の父が男性から女性に性別移行したことをきっかけに、自分の子にトランスジェンダーについて伝えるために、作者自ら絵本を制作。子ども達に、性自認や自己肯定、多様性をわかりやすく伝える一冊。

ジェニカ・ウォルトン 作
ポット出版プラス(2016年12月)

ご案内

《図書の閲覧・貸出》

男女共同参画に関する図書の貸出しは、1人5冊まで期間は3週間以内です。
場所は6階情報サロンです。(約2,000冊)

《啓発パネル・ビデオ・DVDの貸出》

学校、事業所、市町村、男女共同参画を推進する民間団体等に貸出します。
内容は、ホームページでご覧になれます。



交通案内

「JR利用」または「市電・バス」
[鹿児島駅] 徒歩約10分
[市役所前] 下車徒歩約5分
[水族館口] 下車徒歩約5分

駐車場

約450台収容 150円/30分
※センター利用者は2時間まで無料。
総合案内等で2時間無料の認証を受けてください。



編集・発行

鹿児島県男女共同参画センター

(かごしま県民交流センター内) 〒892-0816 鹿児島市山下町 14-50

●「男女共同参画センターだより」の掲載記事(バックナンバーを含む)は、ホームページにも掲載しています。

TEL 099-221-6603

FAX 099-221-6640

電子メール p-harmony@pref.kagoshima.lg.jp

ホームページ <http://www.kagoshima-pac.jp>